

発表事例（C会場：会議室232.233）

C-1

運転・製造
(関東地域)

可視化システム構築による
品質不良撲滅

ジヤトコ株式会社

八木工場
工務部 保全技術課

片山 真也

急激に増加した設備起因する品質不良。8の字展開法から問題を解決するストーリーを展開し、さらには『ラズパイ』を使用したDX活動で維持管理に落としこみ見事品質不良を撲滅することができた事例を発表する。

設備の信頼性向上

C-5

設備保全
(中部地域)

私の家より高いチョックを守れ

愛知製鋼株式会社

鋼カンパニー
鋼片圧延課

本郷 雅人

分塊ロールチョック入替え作業で油の白濁に疑問を持ち、メンバーと議論。結果、水の侵入と原因も判明、全員参加での対策立案と、自ら技能を学び内製化による補修で対策実施した結果、本人の成長とスキル向上、また外注加工費低減にも貢献した事例を発表する。

設備の信頼性向上

改良保全

C-2

設備保全
(中国・四国地域)

特殊グレードを取り戻せ
～ストレーナー詰まりと製品白濁の解消～

旭化成株式会社

製造統括本部 水島製造所
モノマー製造第二部 スチレン製造課

フィールドオペレーター
板谷 良樹

プラント定期修理工事後から発生していた反応ポンプストレーナーの閉塞および製品白濁による作業負荷の増大と品質異常の問題を、製造課一丸となり原因究明、対策へ繋げた事例を発表する。

設備の信頼性向上

設備の管理方法・
基準の見直し

人財育成

C-6

設備保全
(関西地域)

ソフトセンサーを用いた
有機ガス処理設備の安定性向上

株式会社日本触媒

姫路製造所
化成品製造部 製造第2課

戸高 祐幸

コア事業のアクリル酸生産プロセス中に発生する有機ガス処理設備における計器の誤指示対策を、デジタル技術を用いて実施。改善の結果、省コスト・短納期にて生産設備の信頼性と安定性の向上を実現した事例を発表する。

品質安定化・向上

C-3

設備保全
(中部地域)

ミキシングヘッド
『顔料詰まり』低減対策

豊田合成株式会社

尾西工場
SS製造部 製造技術課

棚橋 進哉

ウレタンハンドルを製造する工程にて、停止時間・故障件数共にワーストになっていた【顔料詰まり】をテーマに、苦労しながらチーム一丸となって活動してきた事例を発表する。

予防保全・予知保全

C-7

運転・製造
(中部地域)

スポット冷却水配管
水漏れゼロへの挑戦

トヨタ車体株式会社

吉原工場
プラント環境生技部 動力課

阪西 奏一郎

配管の腐食進行による300分のライン停止が発生。『再発させない』と強い意志を持ち、腐食メカニズムを解明、水質管理システムを導入。さらに、処置の手札を増やし弱点を克服。サークルの枠を超え他工場・他部署をも巻き込んで進めた事例を発表する。

予防保全・予知保全

C-4

運転・製造
(西日本地域)

兆候管理による
長時間停止ゼロへの挑戦

トヨタ自動車九州株式会社

宮田工場
組立部 組立設備課

竹本 らら

生産に大きな影響を与える長時間停止を未然に防止したい思いから、過去10年間分の停止内容を解析、発生リスクを洗い出し、過去に実績のない新たな事に挑戦。設備兆候管理を実現化させ、未然防止達成や安全・原価低減・人財育成に繋がる活動を目標とした事例を発表する。

品質安定化・向上